

保育制度に関するアンケート結果報告

回答期間：2023年12月5日～2024年1月15日 日本共産党北九州市会議員団

お忙しい中、アンケートへのご協力、ありがとうございました。

郵送とWebにて、合計79件の回答をいただき、回答率は22.6%となりました。

低すぎる運営費の基準額、人材確保のための人件費の工面、低い保育士の給料…。加えて物価高が保育園の経営を直撃しています。

深刻化する保育士不足に対して、公的機関による保育士確保の取り組みこそ緊急の課題です。

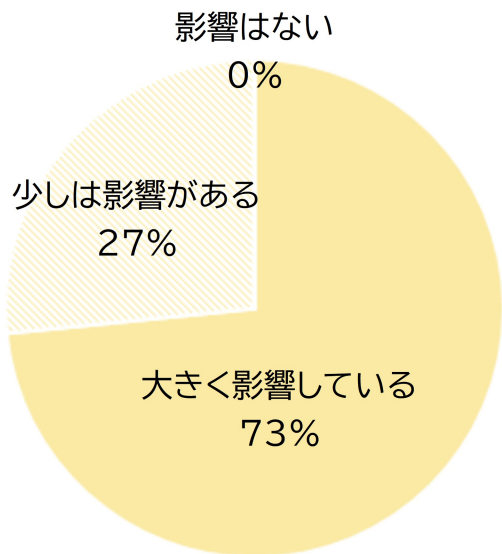
「保育士は未来の人材、未来の安心をつくる仕事、そして命を預かる仕事」。この思いに応えて、みなさんの声を市政、そして県政、国政にも伝えていきます。

2024年2月議会で質問しました！原稿と当局答弁はこちら→

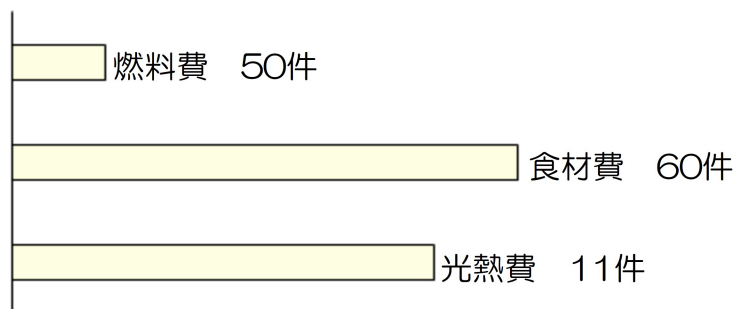


光熱費，食材費，燃料費など、値上がりによる経営への影響について

Q.影響はありますか？



Q.影響しているものは何ですか？

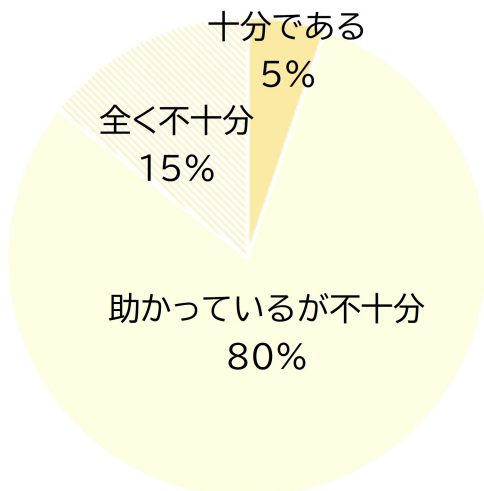


物価高騰で全般に影響。消耗品、教材費など

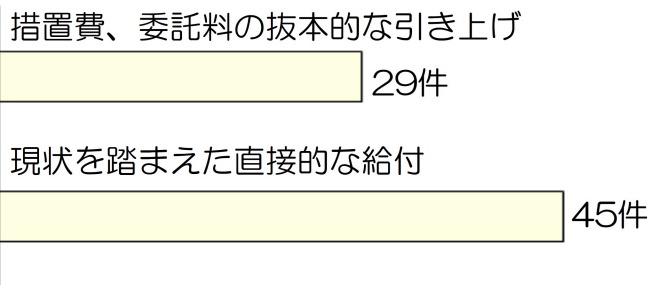
- 教材費
- 家賃
- 光熱費
- 人件費
- 管理維持費
- 備品購入費

国や北九州市のこれまでの支援について

Q.支援は十分ですか？



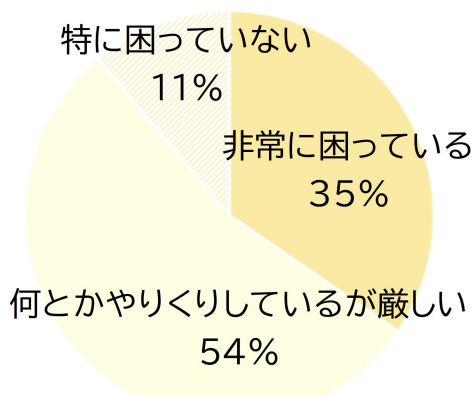
Q.国や市に望むことはありますか？



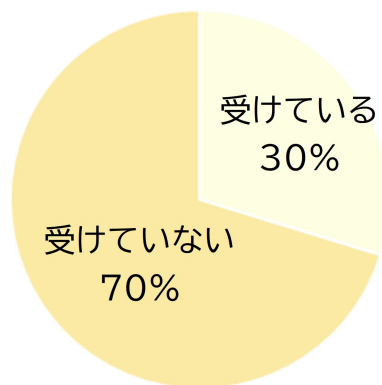
- 委託料、給料のアップ
- 申請・請求事務の大幅軽減を
- 認可外保育所にも委託料を
- 運営費の基準額が低すぎる
- 現場を見て、現場の声を聞いて
- 定員変更の緩和を

保育の人材確保について

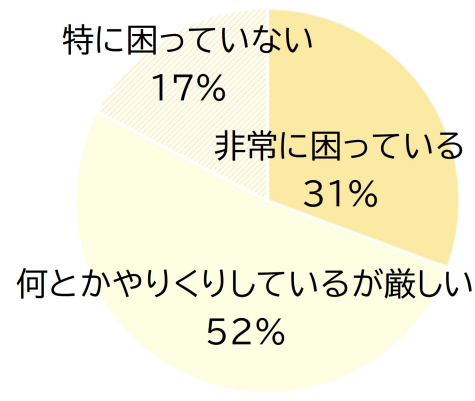
Q.配置基準に対して
人材は確保できていますか？



Q.人材紹介会社から
紹介を受けていますか？



Q.保育の人材は
確保できていますか？



(声) 配置基準そのものが70年以上前のもの。これで「こども真ん中？」といたい。現場に戻りたい保育士も重労働と安い賃金で戻れない。人材紹介会社の紹介料は100万円近いものもある。継続もせず、次々と移っていくだけ。職員の休みさえとれない。



個別の配慮を要する子どもがとても多い

災害時対応は厳しい

最低限の保証がほしい

保育士が足りず、休みも取れない

派遣会社の紹介料が異常に高い。

Q.必要な対策は何ですか？

国や自治体が介護職の魅力発信、イメージの一新

18件

人材掘り起こし、求人情報ネットワーク構築

30件

処遇を改善するために必要な措置費の引き上げ

60件

(声) 国・行政が登録、あっせんする機関を設置し、人材情報を提供してほしい。保育士はそもそも命を預かる仕事。国全体で休養のアップをすることが対策につながる。離職者の現場復帰を後押しする制度も作るべきです。代替保育士の賃金補助、パート保育士の処遇改善で、保育士の休暇の拡充をしてほしい。



保育保険制度全般について (寄せられた声)

「子育て日本一」を謳っている北九州市。保育園、幼稚園だけでなく、認可外施設に目を向けてほしい。

保護者、職員にとって、より良い保育ができるように保育士の確保、子どもたちにかかる費用などの拡充をお願いしたい。

子ども、まんなか社会と言っているけど、受け皿の確保が追いついていないと感じます。横浜市のように子育て支援として独自の制度をつくらしてほしい。

子どもでも認可m認可外と比べられる。デモ当園している子どもたちに、保育を受けている子どもたちに関係ありません。同じ目で見たい。

子どもにも保育者にも優しくない制度である。

定員の少ない保育園に短時間パート保育士をつけてほしい。

国歩予算では保育体制強化事業を実施しているが北九州市は本事業を実施していない。市単独の予算を抜本的に見直してほしい。

子どもの数が少なくなってきた今、子どもが健全に育つための保育園は大変重要。そこで働く人が健全に仕事ができる制度を充実させて。

保護者が、いかに楽に子育てできるかが優先され、保育者や一番考えられるべき子どもの事が後回しどころかおざなりにされていると感じる。

